

I. 報告事項

- 報告 1 平成 28 年度事業報告の件
資料 1 平成 28 年度事業報告書
- 報告 2 平成 29 年度事業計画の件
資料 2 平成 29 年度事業計画書
- 報告 3 平成 29 年度収支予算の件
資料 3 平成 29 年度収支予算書

II. 決議事項

- 第 1 号議案 平成 28 年度決算の件
資料 4 貸借対照表
資料 5 正味財産増減計算書
資料 6 財産目録（注記、附属明細書を含む）
資料 7 監査報告

平成 29 年 5 月 26 日

一般社団法人日本フルードパワーシステム学会

〒 105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-22
機械振興会館 別館 102

電話 03-3433-8441

FAX 03-3433-8442

E-mail info@jfps.jp

I. 報告事項

報告 1 平成28年度事業報告の件

資料1 平成28年度事業報告

自 平成28年 4月 1日

至 平成29年 3月31日

1-1 事業

(1) 集会事業 (企画委員会)

事業名	行事名	期日	場所
総会	第35期通常総会	H28. 5. 27	東京 (機械振興会館)
講演会	平成28年春季フルードパワーシステム 講演会 参加者 124名 論文数 41件	H28. 5. 26 ～27	東京 (機械振興会館)
	平成28年秋季フルードパワーシステム講演会 参加者 89名 論文数 43件	H28. 10. 19 ～20	青森 (ねぶたの家ワ・ラッセ)
講習会	フルードパワー道場11「トライボロジーの 基礎知識(2)」 参加 8社・14名	4回開催	東京近郊・他
	フルードパワーシステム特別研修会 登録参加者 9社、16名	計4回開催	東京近郊・他
セミナー	春季講演会併設セミナー 「フルードパワーシステムを変える IoT, ICT の最新技術」 参加者21名	H28. 5. 25	東京 (機械振興会館)
	オータムセミナー2016 「生産技術に貢献するフルードパワーin トヨタ産業技術記念館」 参加者24名	H28. 11. 25	名古屋 (トヨタ産業技術記念館)
	ウインターセミナー2016「自動車の動力伝達 機能を支える油圧技術」 参加者54名	H29. 2. 17	東京 (機械振興会館)
教育講座	入門者向き実習講座「油空圧技術」 参加者12名	H28. 6. 8～6. 10	大阪(ポリテクセンター関西)
	体験講座「ユネスコ学校」 参加者 66 名	H28. 8. 1～5	栃木 (足利工業大学)
	平成28年度 特別教育講座 「油圧システムのモデリングの基礎をつかむ」 ～ ブロック線図とパワーフロー ～ 参加者14名	H28. 9. 6	東京 (機械振興会館)

(2) 研究委員会 (企画委員会・基盤強化委員会)

1. OHC-Sim特別研究委員会 (第18期)
(委員長 田中 和博, 期間延長; 平成29年4月～平成30年3月) 3～4回/年開催
2. 機能性流体テクノロジーの次世代FPSへの展開に関する研究委員会
(委員長 中野 政身, 期間延長; 平成29年4月～平成30年3月) 3～4回/年開催
3. 油圧機器のトライボロジーなど基盤技術に関する研究委員会
(委員長 西海 孝夫, 期間延長: 平成27年4月～平成29年3月) 3～4回/年開催
4. IDCAEによるフルードパワーシステム設計に関する委員会
(委員長 田中 和博, 新設; 平成28年4月～平成30年3月) 3～4回/年開催
5. 国内外のフルードパワーシステム研究開発動向調査委員会
(委員長 川嶋 健嗣, 期間; 平成27年4月～平成29年3月) 3～4回/年開催
6. アクアドライブシステムの新たな構成機器の開発とその制御に関する研究委員会

(委員長 鈴木 健児, 新設;平成 28 年 4 月~平成 30 年 3 月) 3~4 回/年開催

(3) 会誌 (編集委員会)

	Vol.	No.	発行年月日
会誌「フルードパワーシステム」	47	3	H28. 5. 15
		4	7. 15
		E1	8. 15 (電子出版)
	48	5	9. 15
		6	11. 15
		1	H29. 1. 15
		2	3. 15
発行数	電子出版を含め7回発行, 毎号1,850部		

(4) 研究論文 (論文集委員会)

	投稿論文受付件数	論文集掲載済	掲載待ち	校閲中	返却
H27年度	10	3	2	4	1
H28年度	15	5	1	9	0

(5) 表彰 (表彰委員会)

① 平成27年度 (一社) 日本フルードパワーシステム学会賞授賞者

学術論文賞:

「Theoretical and Experimental Analysis of Wearable Control Valve with Self-holding Function using Permanent Magnets」

正会員; 赤木 徹也, 堂田 周治郎, Ying ZHANG (岡山理科大学)

技術開発賞:

「電磁クラッチを用いた次世代電子制御四輪駆動車用カップリングの開発」

正会員; 安藤 寛之, 安藤 淳二, 津田 拓也 (株式会社ジェイテクト)

技術功労賞:

正会員; 小松 隆 (株式会社コガネイ)

学術貢献賞

正会員; 香川 利春 (東京工業大学)

最優秀講演賞:

社会人部門; 伊藤 貴廣 (KYB 株式会社)

学生部門 ; 石田 靖昌 (東京工業大学), 岡本 拓也 (足利工業大学)

② 平成 27 年度 SMC 高田賞:

「水道水圧駆動マッキベン型人工筋の変位制御 (第 1 報, 人工筋のモデル化および Bouc-Wen モデルの適用)」

正会員; 小林 亘 (芝浦工業大学)

③ 平成 27 年度油空圧機器技術振興財団顕彰:

「微粒子励振型流量制御弁を用いた空気圧シリンダの速度制御」

正会員; 廣岡 大祐, 山口 智実, 古城 直道 (関西大学)

鈴木 康一 (東京工業大学), 神田 岳文 (岡山大学)

④ 名誉員: 横田 眞一 (東京工業大学)

1-2 会議

会議名	回数	備考
第35期通常総会	1回	H28. 5. 27開催
理事会	6回	
委員長会議	5回	
評議員会	1回	H28. 3. 24開催
各委員会		
庶務委員会		書面審議
会計委員会		書面審議
編集委員会	6回	
企画委員会	6回	
基盤強化委員会	4回	
論文集委員会		書面審議
出版委員会		書面審議
表彰委員会		書面審議
情報システム委員会	4回	
国際交流委員会		書面審議
国際シンポジウム実行委員会	—	H28～H29にかけて計11回開催した

1-3 会議

理事会

各担当理事からの提案事項、各委員会活動計画・報告内容、基盤強化に関する事項等を審議した。

委員長会議

理事会開催の前月に開催し、各委員会活動の調整及び理事会に諮る議題を検討した。

評議員会

平成28年度の評議員会を開催し、学会活動における諸問題について討議した。

1-4 委員会

庶務委員会

事務局職員の給与・賞与の策定、職員の採用、その他適宜施策を策定し実施した。

会計委員会

財務の管理・運営、決算書・予算書等の作成、会計監査等を適宜実施した。

編集委員会

会誌の特集企画立案及び冊子の編集作業を実施した。また、会誌掲載記事のロゴ問題や原稿確認マニュアル等を審議した。

企画委員会

講演会、講習会、セミナー等の集会事業の企画を策定し、実施した。また、研究委員会や特別研究委員会等の研究調査事業を基盤強化委員会と連携して、企画し、実施した。

基盤強化委員会

学会の会員増強、財務強化のための施策を企画立案し、実施した。また、FP道場やFPS特別研修会などの研修事業を企画し、実施した。

論文集委員会

論文集への投稿論文等の校閲の運営・管理を実施した。また、Web上で論文投稿・校閲できるシステムによる投稿の受付・査読業務を実施した。

出版委員会

会誌や論文集など他の委員会が所掌する出版物以外の出版に関する事業の企画立案及び編集を実施した。

表彰委員会

学会賞等の各賞の募集・選考・表彰、名誉員の推挙、他団体の顕彰への推薦等を実施した。

情報システム委員会

情報の充実化のための一環として、学会誌・講演論文集等の電子化、学会ITに関連する事項の整備、及びHPの充実と保守管理・運営等を実施した。

国際交流委員会 ベトナムとのMOUを締結した。今後具体的な交流を開始する予定。
日中若手研究者交流事業の一環として、2016FPTC, Hangzhou, Chinaへ2名派遣した。

国際シンポジウム実行委員会

第10回JFPSフルードパワー国際シンポジウム福岡の開催準備として、現地視察・実行委員会等を適宜開催した。

5. 寄付金

一般寄付金振込額 ¥5,000,000 (SMC株式会社, 平成28年2月20日)

6. 会員の移動状況

会員の種別	平成28年4月1日	平成29年4月1日	差引増減	備考
正会員(注)	937名	946名	+9名	
学生会員	141名	120名	-21名	
賛助会員	134社 (290口)	129社 (278口)	-5社 (-14口)	

(注) 正会員の内訳：平成29年4月1日 名誉員14名, シニア員40名, ジュニア員194名

報告 2 平成29年度事業計画の件

資料2 平成29年度事業計画書 (案)

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

1. 事業計画

(1) 集会事業

事業名	行事名	期日	場所
総会	第36期通常総会	H29. 5. 26	東京 (機械振興会館)
講演会	平成29年春季 フルードパワーシステム講演会	H29. 5. 25 ～26	東京 (機械振興会館)
	第10回 JFPS 国際シンポジウム福岡 2017	H29. 10. 24 ～27	福岡 (アクロス福岡, 福岡工業大学)
研修会	フルードパワー道場12	4回開催	東京近郊・他
	F P S 特別研修会	4～5回開催	東京近郊・他
セミナー	春季講演会併設セミナー「フルードパワー に役立つセンシング技術」	H29. 5. 24	東京 (機械振興会館)
	平成29年度オータムセミナー	H29. 11	東京近郊
	平成29年度ウインターセミナー	H30. 2	東京近郊
教育講座	入門者向き実習講座「油空圧技術」	H29. 6. 7～6. 9	大阪 (ポリアセンター関西)
	体験講座 「ユネスコ学校」	H29. 8	栃木 (足利工業大学)
	平成29年度特別教育講座 「油圧システムにおけるモデリングの基礎 をつかむ」～モデリングの基礎から位置決め システムのモデリング～」	H29. 8	東京 (機械振興会館)

(2) 研究委員会 (企画委員会, 基盤強化委員会)

1. OHC-Sim特別研究委員会 (第18期)
(委員長 田中 和博, 期間延長; 平成29年4月～平成30年3月) 3～4回/年開催
2. 機能性流体テクノロジーの次世代FPSへの展開に関する研究委員会
(委員長 中野 政身, 期間延長; 平成29年4月～平成30年3月) 3～4回/年開催
3. 油圧機器のトライボロジーなど基盤技術に関する研究委員会
(委員長 西海 孝夫, 期間延長; 平成29年4月～平成30年3月) 3～4回/年開催
4. IDCAEによるフルードパワーシステム設計に関する委員会
(委員長 田中 和博, 継続; 平成28年4月～平成30年3月) 3～4回/年開催
5. アクアドライブシステムの新たな構成機器の開発とその制御に関する研究委員会
(委員長 鈴木 健児, 継続; 平成28年4月～平成30年3月) 3～4回/年開催

(3) 学会誌・論文集

学会誌「フルードパワーシステム」を、電子出版号を含めて年7号刊行する。

「日本フルードパワーシステム学会論文集」を、年6号刊行する。過去に掲載の論文集を

J-STAGE 上で随時掲載する。英文論文集を J-STAGE に掲載する。

- (4) 出版物
講演会の論文集，テキスト，研究成果報告書などを出版する。
- (5) 表彰
学会賞（学術論文賞，学術貢献賞，技術開発賞，技術功労賞，最優秀講演賞），SMC 高田賞，名誉員の推挙，他団体の顕彰への推薦などの募集，選考，表彰を実施する。
- (6) 他学協会との共催、協賛
「フルードパワーシステム講演会」，オータムセミナー・ウインターセミナー，その他企画事業について関連団体へ共催・協賛を積極的に要請する。同じく，関連団体よりの共催・協賛要請に適宜対応する。
- (7) 学会 IT 環境整備事業
会員へのサービス向上のため IT 環境の整備，特に HP を逐次更新し，最新情報を担保する。
- (8) 国際交流事業
中国との交流のための若手研究者を募集し，派遣する。ベトナムとの交流を推進する。海外からの国際交流奨学生を募集する。
- (9) 産・学共同研究事業
日本フルードパワー工業会と共同し，関連情報の収集，テーマの設定，研究開発の概要などを検討する。
- (10) 学会設立 50 周年記念事業
学会設立 50 周年記念事業準備委員会を設置し，開催のための準備を進める。

2. 会議及び各委員会の活動計画

- (1) 通常総会 第 36 期通常総会（5 月 26 日開催）
- (2) 理事会 年 6 回開催（委員長会議（年 5 回）で理事会の議題調整・準備）
- (3) 各委員会
庶務委員会：組織，定款・細則・諸規程整備，渉外・人事などに関する策定と実施（適宜開催）
会計委員会：財務の管理・運営，決算書・予算書等の作成，年度末の会計監査の実施（適宜開催）
編集委員会：会誌の特集企画立案及び編集（年 6 回，その他分科会）
企画委員会：講演会，講習会，セミナー等の集会事業の企画策定と実施，研究委員会や特別研究委員会等の研究調査事業の基盤強化委員会との連携による企画，運営（年 5 回，その他分科会適宜開催）
基盤強化委員会：学会会員増強，財務強化のための施策の企画立案と実施。若手道場や FPS 特別研修会などの若手技術者の研修事業の企画と実施（年 4 回）
論文集委員会：論文集への投稿論文等の校閲の運営・管理（適宜開催）
出版委員会：会誌や論文集など他の委員会が所掌する出版物以外の出版に関する事業の企画立案及び編集（適宜開催）
表彰委員会：学会賞等の各賞の募集・選考・表彰，名誉員の推挙，他団体の顕彰への推薦（適宜開催）
情報システム委員会：情報の充実化策定と実施，学会誌・講演論文集等の電子化，学会 IT 関連整備，HP の充実化と管理・運営（年 4 回開催）
国際交流委員会：昨年締結したベトナムとの MOU に基づいて，ベトナムの訪問を手始めに交流を開始する。海外学会への使節団の派遣，海外からの国際交流奨学生の募集など国際交流促進の検討（適宜開催）。
国際シンポジウム実行委員会：引き続き第 10 回 JFPS フルードパワー国際シンポジウムの開催準備を進め，10 月 24 日～27 日にかけて開催する。（適宜開催）

報告3 平成29年度収支予算の件

資料3 収支予算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
特定資産運用益	0
特定資産受取利息	0
受取会費	24,200,000
正会員会費収入	6,500,000
賛助会員会費収	17,400,000
学生会員会費収	300,000
受取参加料	3,700,000
春季・秋季講演会収入	2,000,000
オータム・ウィンターセミナー収入	900,000
FP道場収入	500,000
その他企画事業収入	300,000
産学共同研究委員会収入	600,000
OHC-Sim特別研究委員会	300,000
その他特別研究委員会収入	300,000
特別研修会収入	1,400,000
FPS特別研修会収入	1,400,000
国際交流	0
	0
国際シンポジウム収入	16,000,000
国際シンポジウム収入	16,000,000
受取販売料	797,000
学会誌頒布収入	540,000
諸資料頒布及び著作権料収入	237,000
研究委員会成果報告書収入	20,000
受取掲載料	310,000
論文掲載収入	310,000
受取広告料	1,500,000
広告料収入	1,500,000
受取出展料	100,000
IFPEX展示収入	100,000
特定資産運用益	10,000
特定資産受取利息(定期預金)	10,000
雑収益	10,000
雑収入(普通預金受取利息)	10,000
受取寄付金収入	5,000,000
一般寄付金	5,000,000
普通預金取崩収入	2,000,000
普通預金取崩	2,000,000
経常収益計	55,627,000
(2) 経常費用	
会誌事業費	7,430,000
会議費	400,000
諸謝金費	500,000
印刷製本費	4,400,000
通信運搬費	730,000
編集業務委託費	1,400,000
企画事業費	3,852,000
会議費	752,000
春季・秋季講演会開催費	2,000,000

オータム・ウィンターセミナー	500,000
FP道場開催費	320,000
電子化事業	0
その他企画事業開催費	280,000
研究委員会事業費	790,000
機能性流体テクノロジーの次世代FPSへの展開に関する研究会	370,000
油圧機器のトライボロジー等基盤強化に関する研究委員会	100,000
国内外のフルードパワーシステム研究開発動向調査委員会	0
アクトライブシステムの新たな構成機器の開発とその制御に関する研究委員会	0
1DCAEによるフルードパワーシステム設計に関する委員会	100,000
その他の研究委員会	100,000
その他の研究委員会	100,000
研究委員会報告書作成費	20,000
産学共同研究委員会事業費	340,000
産学共同研究委員会	
OHC-sim特別研究委員会	250,000
特別研修会事業費	300,000
FPS特別研究会事業費	300,000
表彰事業費	253,000
表彰費	253,000
情報関連事業費	1,740,000
ラデックス(株)保守	0
回線使用料、ドメイン管理費など	0
IT環境整備費	1,500,000
サーバー保守費など	200,000
電子化事業費	0
会議費、運営費	40,000
国際交流事業費	1,100,000
国際交流事業費	1,100,000
論文集事業費	402,000
会議費	2,000
論文集公開経費 (J-STAGE)	400,000
IFPEX開催費	100,000
IFPEX展示収入	100,000
国際シンポジウム開催費	16,000,000
国際シンポジウム開催費	16,000,000
設立50周年記念事業費	500,000
設立50周年記念準備費など	500,000
出版事業費	100,000
出版事業費	100,000
管理費	22,720,000
給料手当	9,400,000
福利厚生費	1,445,000
会議費	1,000,000
旅費交通費	400,000
通信運搬費	1,000,000
什器備品費	2,100,000
消耗品費	350,000
賃貸料	3,600,000
諸謝金	900,000
雑費	500,000
他団体参加費	450,000
基盤強化委員会費	310,000
租税公課	95,000
退職給付引当金	1,000,000
減価償却費	170,000
経常費用計	55,627,000

II. 決議事項

第1号議案 平成28年度の決算の件

資料4 貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	20,328,592
前払費用	604,800
流動資産合計	20,933,392
2. 固定資産	
(1) 特定資産	
退職給付引当預金	2,000,000
情報システム運営基金	5,000,000
国際交流事業運営基金預金	7,586,511
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505
産学共同研究基金預金	6,866,252
出版事業基金預金	2,574,574
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000
特定資産合計	40,280,842
(2) その他固定資産	
ソフトウェア	2,937,735
リース資産	331,776
電話加入権	38,441
敷金	3,163,800
その他固定資産合計	6,471,752
固定資産合計	46,752,594
資産合計	67,685,986
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	40,095
前受金	5,069,000
前受会費	15,766,000
預り金	91,100
仮受金	363,500
未払法人税等	70,000
未払消費税等	306,900
流動負債合計	21,706,595
2. 固定負債	
リース債務	345,600
退職給付引当金	2,895,980
固定負債合計	3,241,580
負債合計	24,948,175
III 正味財産の部	
1. 一般正味財産	42,737,811
(うち特定資産への充当額)	(38,280,842)
正味財産合計	42,737,811
負債及び正味財産合計	67,685,986

資料5 正味財産増減計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
特定資産運用益	9,318
特定資産受取利息	9,318
受取会費	20,716,000
正会員会費収入	5,980,000
賛助会員会費収	14,450,000
学生会員会費収	286,000
受取参加料	7,931,000
春季・秋季講演会収入	3,522,000
オータム・ウィンターセミナー収入	1,079,000
FP道場収入	490,000
その他企画事業収入	330,000
産学共同研究委員会収入	630,000
特別研修会収入	1,600,000
国際交流事業収	280,000
受取販売料	888,523
学会誌頒布収入	655,270
諸資料頒布及び著作権料収入	233,253
受取掲載料	310,000
論文掲載料収入	310,000
受取広告料	1,461,672
広告料収入	1,461,672
受取寄付金	5,000,000
雑収益	15,315
普通預金利息	615
雑収益	14,700
経常収益計	36,331,828
(2) 経常費用	
会誌事業費	7,198,921
会議費	384,566
諸謝金費	477,000
印刷製本費	4,458,154
通信運搬費	486,586
編集業務委託費	1,392,615
企画事業費	4,523,307
会議費	745,014
春季・秋季講演会開催費	2,661,951
セミナー(オータム・ウィンター)	308,307
FP道場開催費	269,392
電子化事業費	159,840
その他企画事業開催費	378,803
研究委員会事業費	474,014
機能性流体FPS融合	397,000
1DCAE特別研究会	77,014
産学共同研究委員会事業費	256,991

OHC-sim特別研究委員会	256,991
特別研修会事業費	268,733
FPS特別研究会事業費	268,733
表彰事業費	252,935
表彰費	252,935
情報関連事業費	1,159,978
IT環境整備費	1,116,180
会議費、運営費	43,798
国際交流事業費	1,075,250
国際交流事業費	1,075,250
論文集事業費	602,700
会議費	1,700
論文集公開経費 (J-STAGE)	601,000
国際シンポジウム開催費	1,095,437
国際シンポジウム開催費	1,095,437
管理費	22,954,809
給料手当	9,377,793
福利厚生費	1,613,437
会議費	1,145,733
旅費交通費	374,606
通信運搬費	1,211,981
什器備品費	1,504,944
消耗品費	733,077
賃貸料	3,531,804
諸謝金	706,117
雑費	534,843
他団体参加費	204,167
基盤強化委員会費	232,987
租税公課	320,650
退職給付費用	546,722
減価償却費	915,948
経常費用計	39,863,075
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,531,247
評価損益等計	0
当期経常増減額	△ 3,531,247
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
経常外費用計	0
当期経常外増減額	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 3,531,247
法人税、住民税及び事業税	71,479
当期一般正味財産増減額	△ 3,602,726
一般正味財産期首残高	46,340,537
一般正味財産期末残高	42,737,811
II 正味財産期末残高	42,737,811

資料6 財産目録

平成 29 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	東京都港区芝公園 三丁目5番22号	運転資金として	322,309	
	預金	普通預金			20,006,283
		新生銀行本店		運転資金として	241,834
		横浜銀行新橋支店		運転資金として	15,164
		芝信用金庫新橋支店		運転資金として	24,533
		三菱東京UFJ銀行 本店		運転資金として	63,046
		三菱東京UFJ銀行 虎ノ門支店		運転資金として	4,320
		りそな銀行新橋支店		運転資金として	605,729
		りそな銀行赤坂支店		運転資金として	435,565
		みずほ銀行新橋支店		運転資金として	746,256
		三井住友銀行 日比谷支店		運転資金として	11,668,774
		郵便貯金		運転資金として	5,315,052
		郵便振替貯金		運転資金として	886,010
		前払費用	(株)アトラス	国際シンポジウムのためのシステム使用料	604,800
流動資産合計			20,933,392		
(固定資産) 特定資産	退職給付引当預金	定期預金	退職給付金の準備金	2,000,000	
		三井住友銀行 日比谷支店			
	情報システム運営基金	定期預金	情報システム運営のための基金	5,000,000	
		新生銀行本店			
	国際交流事業運営基金預金	定期預金	国際交流事業運営のための基金	4,554,865	
		三菱東京UFJ銀行本店 横浜銀行新橋支店			
	国際シンポジウム運営基金預金	定期預金	シンポジウム事業運営のための基金	8,599,100	
		りそな銀行赤坂支店 虎ノ門支店			
		芝信用金庫新橋支店			
		産学共同研究基金預金	定期預金		調査研究事業運営のための基金
	出版事業基金預金	りそな銀行赤坂支店 横浜銀行新橋支店		5,029,683	
		定期預金	会誌事業運営のための基金	1,836,569	
		三井住友銀行 日比谷支店		1,553,973	
		みずほ銀行新橋支店		1,020,601	
フルードパワーシステム技術基金	定期預金	フルードパワーシステム技術のための基金	5,000,000		
	新生銀行本店				

その他固定資産	リース資産	東京都港区芝公園 三丁目5番22号	事務所使用のパソコン	331,776
	ソフトウェア	同上	会員管理システム	2,937,735
	電話加入権	同上	事務所使用の電話	38,441
	敷金	同上	事務所の敷金	3,163,800
固定資産合計				46,752,594
資産合計				67,685,986
(流動負債)	未払金	堀井公認会計士事務所	29年3月分の税理士顧問料	40,095
	前受金	春季講演会	29年度の春季講演会参加料	24,000
		購読料	購読料の前受分	45,000
		寄附金	29年度一般寄付金の前受分	5,000,000
	前受会費	29年度正会員会費	29年度の正会員分受取会費	590,000
		30年度正会員会費	30年度の正会員分受取会費	30,000
		31年度正会員会費	31年度の正会員分受取会費	10,000
		学生会員会費	学生会員の受取会費の前受分	16,000
		賛助会員会費	賛助会員の受取会費の前受分	15,120,000
	預り金	給与	29年1月～3月分の源泉所得税	30,570
		報酬	29年3月分の源泉所得税	15,817
		士業報酬	29年1月～3月分の源泉所得税	17,413
		住民税	29年3月分の住民税	27,300
	仮受金	油空圧機器振興財団	29年度財団賞	300,000
		川重商事(株)	29年度油空圧技術参加料	25,400
		甲南電機	29年度油空圧技術参加料	12,700
		ダイハツ工業(株)	29年度油空圧技術参加料	25,400
	未払法人税等	未払法人税等	28年度の法人住民税	70,000
	未払消費税等	未払法人税等	28年度の消費税及び地方消費税	306,900
流動負債合計				21,706,595
(固定負債)	リース債務	東京都港区芝公園 三丁目5番22号	事務所使用のパソコン	345,600
	退職給付引当金	退職給付引当金	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	2,895,980
固定負債合計				3,241,580
負債合計				24,948,175
正味財産				42,737,811

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

職員の退職金支給に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を計上している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

①リース資産

所有権移転外ファイナンス・リースに係るリース資産

リース期間定額法によっている。

②ソフトウェア

定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当預金	1,000,000	1,000,000	0	2,000,000
情報システム運営基金	5,000,000	0	0	5,000,000
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	0	0	7,586,511
国際シンポジウム運営基金預金	14,340,646	7	3,087,148	11,253,505
産学共同研究基金預金	6,866,252	0	0	6,866,252
出版事業基金預金	2,574,574	0	0	2,574,574
フルード・パワーシステム技術基金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	42,367,983	1,000,007	3,087,148	40,280,842
合 計	42,367,983	1,000,007	3,087,148	40,280,842

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
退職給付引当預金	2,000,000	(0)	(0)	(2,000,000)
情報システム運営基金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	(0)	(7,586,511)	(0)
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	(0)	(11,253,505)	(0)
産学共同研究基金預金	6,866,252	(0)	(6,866,252)	(0)
出版事業基金預金	2,574,574	(0)	(2,574,574)	(0)
フルード・パワーシステム技術基金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
小 計	40,280,842	(0)	(38,280,842)	(2,000,000)
合 計	40,280,842	(0)	(38,280,842)	(2,000,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
リース資産	829,440	497,664	331,776
ソフトウェア	3,750,300	812,565	2,937,735
小 計	4,579,740	1,310,229	3,269,511
合 計	4,579,740	1,310,229	3,269,511

附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載しているため
附属明細書での記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,349,258	546,722	0	0	2,895,980

資料7 監査報告

監査報告

平成 29 年 4 月 13 日

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会

会長 小山 紀 殿

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会

監事 高岩 昌弘

監事 陸浦 淳二



私たち監事は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの第 35 期事業年度の理事の職務執行状況を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、事務局において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、内訳表を含む正味財産増減計算書、財産目録、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく、示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

- 一 財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。